

1. 日時 2023年6月22日(木) 2限目 (9:40～10:25)
2. 場所 5年1組教室
3. 学年・組 5年1組(37名)
4. 単元名 言葉の意味が分かること
5. 研究課題

主体的に取り組み、学び深め合う児童の育成  
～書くことを通したみとりへの取り組み～

## 6. 指導にあたって

### (1)教材について

本教材は、練習教材「見立てる」で学んだ基本的な内容をいかして読み、文章中に表れる情報と情報との関係を、「情報、原因と結果」で確認する構造となっている。練習教材と本教材に二つの教材は、文化や言葉に表れたものの見方の特徴について述べており、内容面で共通点がある。「初め」「終わり」に筆者の考えが示され、「中」で定義や筆者の考えを論証する事例が示されている双括型の構造になっている。

また、表現では「言葉の意味には広がりがある」「言葉の意味のはんい」「言葉の意味を『点』として考える」「言葉の意味を『面』として考える」など独特の言葉が使われている。これらの言葉は文中で丁寧に説明されているが、その意味をしっかりと押さえたり、言い換えられているそれぞれの言葉がどう結びついているか注意しながら読み進めたりしていく必要がある。そして、たとえ分からない表現があっても、そこで立ち止まらずに読み進めていくと、その後に解説があることに気づく読み方をしていかななくてはならない。

### (2)児童について

これまでの国語科の学習においては学習計画を大切に、単元の最終目標を指し示して取り組んできた。物語文「なまえつけてよ」では感想文を書き、話す・聞くの学習「きいて、きいて、きいてみよう」では友だちがインタビューをしたことを記録して報告書を書いた。しかし、自分の言葉で文章を書く力がある児童は数名で、ほとんどの児童が話型や提示したいいくつかの例文をお手本に文章を仕上げた。お手本があれば自分でまとめようとする姿勢が身に付いてきか、今まで学習してきた書き方を生かして文章を書こうとする姿勢はまだまだ不十分である。また全体的に語彙力が低く、一つ一つの大切な言葉の意味を文章の全体や前後から読み取ったり、文章から感じ取ったことを叙述をもとに理由として述べたりすることが苦手な児童が多く課題がある。出来事の流れを捉えることはできるが、文章の言葉を理解して豊かに想像することは十分にできていない。友達の考えを聞き、感覚的に反応しているところが多く、「なまえつけてよ」の物語文では、教師の切り返しや揺さぶりなどで叙述に返らせることで読みを補ってきた。話し合い活動は好きだが、友達の考えを取り入れたり、じっくり書いたりすることで自分の考えを深めることができる児童が少ない。

### (3)指導について

本教材は「言葉への興味・関心を高めることの大切さ」や「多様なものの見方・考え方の大切さ」を示唆してくれる教材と言えるが、一方で、読むことが苦手な児童は「分からない」と感じることも予想される。「どこで難しさを感じたのか」「どのように読めば筆者の主張に迫ることができるのか」を児童と考えること

で、単元全体を通して課題解決を図ろうとする児童の姿を引き出すようにしたい。また、各段落の内容を簡潔にまとめながら、構成と内容を確認していき。

具体的には、「中」後半で示される「言語間の違いの事例」で日本語、韓国語、中国語では動作をどのように言い表すのかが図とともに挙げられている。しかし「似た動作を表す言葉でも、言語によって分け方が違う」という本文中の文章と繋げて理解することができる児童が少ないことが予想される。その場合、「このように」という接続詞に着目して、事例を理解できなくても筆者の考えが分かる文章を見つけ出し、内容を確認できるようにしたい。

そして、要旨を捉えることを大きなねらいとして、要旨の読み取りにあたって重要な「筆者の考え（主張）」は文章の冒頭や最後に直接的に記されることが多く、そこに着目しながら読者を説得するための筆者の論証に気づかせながら要旨を捉えさせたい。また要旨を書くとき、書き始めの型やルーブリック評価を提示することで、見通しをもち指定された文字数でまとめるなど目標をもって取り組めるようにしていきたい。

<p>① <b>160字以内にまとめる。</b>  <b>A:135～160</b>  <b>B:120～180</b>  <b>C:上記以外</b></p>	<p>② <b>繰り返し出てくる文や語をつかってまとめる。</b>          ・言葉の意味には広がりがある。          ・言葉の広がり          ・言葉の意味を「面」として          ・言葉やものの見方を見直す</p>	<p>③ <b>文章のおかしなところやまちがっているところがない。</b></p>	<p>④ <b>筆者の考えが伝わるように、ねばり強くまとめることができた。</b></p>
---	---	---	---

## 7. 単元目標

- ・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知(2)ア)
- ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思C(1)ア)
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思C(1)ア)
- ・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知(1)オ)
- ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思C(1)カ)

## 8. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現 (話すこと・聞くこと)	主体的に学習に取り組む態度
原因と結果など情報と情報との関係について理解している【(2)ア】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している【C(1)ア】</li> <li>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。【C(1)オ】</li> <li>・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。【C(1)カ】</li> </ul>	粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って、筆者の考えに対する自分の考えを発表しようとしている。

9. 単元の系統

単元の位置づけ

第4学年までの説明文単元では、「考えと理由・事例の関係に注意して読むこと」「段落相互の関係を考えること」などに着目し、筆者の説明のしかたの工夫を見つけてきている。

4年

思いやりのデザイン/アップとルーズで伝える

- 文章構成や段落どうし関係を確かめ、筆者の考えを捉える。👉 対比

◆ 考えと例

- 考えと例の関係に着目して、理解・表現する。

5年

見立てる/言葉の意味が分かること

- 事例・理由や論の展開に着目して、要旨を捉える。
- 👉 要旨 / 構成 / 事例

◆ 原因と結果

- 原因と結果の関係に着目して、理解・表現する。

新聞を読もう

- 書かれた目的や対象を踏まえて、知りたいことにあった新聞や記事を選んで読む。

固有種が教えてくれること

- 文章以外の資料を用いた効果を考えながら読む。

想像力のスイッチを入れよう

- 事例と意見の関係を押さえて読み、自分の考えを明確にして伝え合う。

6年

笑うから楽しい/時計の時間と心の時間

- 筆者の主張と、それを支える事例を捉え、自分の考えをまとめる。

◆ 主張と事例

- 主張と事例の関係に着目して、理解・表現する。

10. 単元の指導と評価の計画 (全7時間)

次	時	主な学習活動	評価基準 (評価方法)
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の扉を参照し、学習の見通しをもつ。</li> <li>学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> <li>「見立てる」を読み、事例の取り上げ方や段落構成に着目しながら文章の要旨を捉え、自分の考えを伝え合う。</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「見立てる」について、文章全体の構成を捉えて筆者の考えを把握している。〔記述・発言〕</li> </ul> <p>【主体的な態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元目標や学習計画を確かめて見通しを持ち、文章を進んで読もうとしている。〔観察・発言〕</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉の意味が分かること」を読み、要旨を90字でまとめ感想を伝え合う。</li> </ul>	
第2次	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の要旨を捉えるために、それぞれの段落の内容を簡単にまとめる表を作成しながら構成と内容を確認する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形式段落をとらえ、初め・中・終わりの構成に分けることができる。〔記述・発言〕</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「初め」と「終わり」に筆者の考えを示されていること、事例の挙げ方、原因と結果の関係、事例と筆者の考えの結びつきを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し出てくる文や語をみつける事ができる。〔記述・発言〕</li> <li>文章を読み、原因と結果の関係をみつける事ができる。〔記述・発言〕</li> </ul>

	5	「中」第二段落から第四段落までが、文章全体の中でどのような役わりをしているか確かめる。	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・文章を読み、筆者の考えを見つけて線を引いたり、繰り返し出てくる大切な文や語を囲んだりしている。〔記述・発言・観察〕
	6	二つの事例の内容としめし方を確かめ、二つの事例を原因と結果という関係で整理する。	・見つけた箇所を友だちと進んで交流している。〔発言・観察〕 <b>【思考・判断・表現C】</b> ・文章全体の構成を捉えて筆者の考えを把握している。〔記述・発言・観察〕
	7	文章の要旨を160字程度にまとめる。	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・ワークシートを確かめて要旨をまとめようとしている。 〔記述・発言・観察〕 <b>【思考・判断・表現C】</b> ・繰り返し出てくる文や語に気をつけて筆者の考えを要旨にまとめている。 〔記述・観察〕
	8 本 時	ループリック評価に基づき、要旨を推敲し、より筆者の考えが分かりやすくなるように文章を練り直す。	ループリック評価の観点に基づく評価
第 3 次	9	筆者の考えや事例の示し方について、自分の考えをまとめる。	<b>【知識・技能】</b> ・要旨をとらえ、筆者の考えに対する感想や自分の考えをまとめる。〔記述・発言〕 <b>【思考・判断・表現C】</b> ・自分の経験や体験に基づいて感想や考えをまとめている。 〔記述・発言〕 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・文章を読み直ししながら、粘り強くまとめている。〔記述・観察〕
	10	筆者の考えに触れながら自分の考えを発表する。	

## 11. 本時の展開（ 8/10 時間）

### （1）本時の目標

○前時で書いた要旨をループリック評価に基づいて推敲する。

### （2）本時の学習過程

学習内容・学習活動 〈予想される児童の反応〉	指導上の留意点 (●留意点 ★手立て・支援)【評価】
<b>①</b> 前時の学習を振り返り、「本時の課題」を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">           課題：要旨を読み直し、より良くなるように見直そう。         </div> <b>①</b> 初め（第1段落）・終わり（第11, 12段落）を読む。	<b>T</b> 「要旨をまとめる時に気をつけることは何でしたか。」 ●「要旨」の意味をおさえる。 ●構成をまとめたワークシートを見直し、繰り返し出る文や語を確認する。

<p><b>②ループリック評価の確認</b></p> <p>①評価に基づきながら、前時までにまとめた自分の文章を読み直す。</p> <p>② 文章を班で交換して交流する。</p>	<p>T「この単元で要旨をまとめる時、4つ気を付けることがあります。」(ループリック評価の確認)</p> <p>T「班で友だちの文章を読み合って、交流しましょう。」</p> <p>T「4つの観点(ループリック評価)とも照らし合わせて読みましょう。」</p> <p>その他の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えが書けているか</li> <li>・誤字脱字</li> <li>・一文が長くないか。</li> <li>・文末は整っているか。(です・ますがが混ざっていない。なぜかというところからです、と対応している。)</li> </ul>
<p><b>③要旨の推敲をする。</b></p> <p><b>④振り返り</b></p>	<p>T「友だちの文章を読んで、分かりやすいと思ったところや、友だちからのアドバイスを生かして見直しましょう。」</p> <p>●見直しする時に気を付ける観点をもう再度確かめる。</p> <p>T「めあてが達成できたか、自分で確かめましょう。」</p> <p>●ループリック評価の表を使って、振り返る。</p>

13.板書計画

<p>① 160字以内にまとめる。 A:135~160 B:120~180 C:上記以外</p>	<p>② 繰り返し出てくる文や語をつかってまとめる。 ・言葉の意味には広がりがある。 ・言葉の広がり ・言葉の意味を「面」として ・言葉やものの方を見直す</p>	<p>③ 文章のおかしなところやまちがっているところがない。</p>	<p>④ 筆者の考えが伝わるように、おぼろしくまとめることができる。</p>
--	---	------------------------------------	--

着目する点

**要旨…内容の中心や筆者の考えの中心**

④ 要旨を読み直し、よりよくなるように見直そう。

六月二十三日(木)

言葉の意味が分かること 今井 むつみ

終わり	中 2		中 1	初め	構成
⑫ ⑪	⑩ ⑨ ⑧	⑦ ⑥ ⑤	④ ③ ②	①	段落
筆者の主張	<p>事例③ 原因英語と同じ感覚で「食べる」といって「飲む」を言っていた。 結果「朝食」メニューを提案すまでだった。「」</p>	<p>事例② 原因自分が考えた言葉と、別の場面ではおぼろしく使っていた。 結果「食べる」を「飲む」といって「飲む」を言っていた。「」</p>	<p>事例① 例・小さい頃は「飲む」の意味を教える場面</p>	<p>筆者の主張</p>	<p>書いてあること</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「面」の意味には広がりがある</li> <li>・言葉の意味には広がりがある</li> <li>・言葉の意味を「面」として</li> <li>・言葉やものの方を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・似た意味の言葉ですが「意味」は「面」から広がりがある</li> <li>・「飲む」の意味を「面」として「飲む」を言っていた。</li> <li>・「飲む」の意味を「面」として「飲む」を言っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この言ひまがらひの範囲は、自分が考えた言葉の意味の広がりを見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「飲む」の意味には広がりがある</li> <li>・言葉やものの方を見直す</li> </ul>	<p>大事な語や文</p>	

〈資料〉「見立てる」の要旨（90字以内）

「見立てる」とは、あるものを別のものとして見るということである。見立てるという行為は、想像力に支えられている。そして、想像力は、わたしたちを育ててくれた自然や成あk津と深く関わっているのだ。

「見立てる」とは、あるものを別のものと見て、関係のない二つを結びつけることです、その「見立てる」という行為は、想像力に支えられていて、自然や生活と深く関わっています。

「見立てる」とは、あるものを別のものに例え、たがいに関係のない二つを結びつけることである。そして、想像力にも支えられている。ということは、自然や生活と深く関わっていることが分かる。

「見立てる」とは、あるものを別のものとして見ることで、見立てるという行為は、想像力に支えられている。そして、想像力は自然や生活と深く関わっているのだ。